

# 一般質問 八潮市のイメージアップ

Q 予想では来年度本市の人口が84,000人を突破することが予想されていますが、本市の名称「八潮」(語呂合わせ840・やしお)を活用して何かイベントを実施する考えについて

A 84,000人に到達した際のイベント等の実施につきましては、平成20年の議会で質問した(森下議員)の答弁同様に、「84,000人目の認定のついて前向きに検討する」ということでご理解をいただきたい。

## ●和宏の考え・意見

私がこの質問をした理由は、同年代と会話をする中で、「もっと八潮をPRしたい」という気持ちと、ある団体の先輩からのアイデアと素に質問をしました。その方のアイデアは、質問時にもご紹介しましたが、「84,000人目の認定だけじゃなく84,000人到達する日を予想するクイズと実施しては？」という内容でした。

余談ですが、その方は、「当選賞品は売れ残っている保留地を」という壮大なスケールでしたが、(もしも実現したら凄い話題ですね！)

当然の話ですが、このイベントが出来るのは日本全国で「八潮だけ」です。話題性も十分！メディア等でもかなり取り上げてくれると思いますね！要望としては、今後、民間の団体等で実施する場合には、行政としても「柔軟な体制」協力をするように提言しました。

# 魅力ある学校給食について

Q 児童・生徒に比較的好評な「バイキング給食」の回数を増やす試みや、本市ではまだ実施されていない「お誕生日給食」の実施について教育委員会のお考えを伺います。

A 「バイキング給食」は、小学校6年生と中学校3年生を対象に、児童・生徒に献立リクエストを募り年1回実施しています。今後、回数を増やす試みについては、学校・給食センターとの協議の上、研究して参りたいと考えます。

「お誕生日給食」の実施については、学年、クラスに関係なく誕生月の児童がランチルームと一緒に給食を食べ特別メニューとしてケーキなどが添えられている場合もあります。

また給食でクラス以外の児童と交流でき人気があるものと思っています。

本市の魅力ある学校給食の実現に大変参考になるご提案であると認識しています。今後、学校・給食センターと協議の上、研究してまいります。

## ●和宏の考え・意見

現在、本市の給食は「東部給食センター」への全面委託方式ですが、まだ改善しなければならぬ事項も多いと私は感じています。

そして年間185回の給食ですが、児童生徒の成長・食育の観点からも重要な役割を担っていると思います。

このような事からも、現状を少し工夫すれば出来る事も多く、「やる気・努力」があればかなりの改善を図れると思います。(今後の教育委員会の取り組みに注目です!!)

# 小作田教職員住宅の今後について

Q 過去の一般質問でも質問した「小作田教職員住宅」の活用方法について、その後はどのような議論がされたのか？

A 有効活用については、今後ALTや団塊世代の定年退職等により新任の教職員が増え、需要はあると考えていますが、現在ある住戸数、全てを必要とするほどではないと予測しています。小作田教職員住宅は昭和49年度から51年度にかけて建築されており老朽化が著しく、他の用途に変更して仕様する場合には大規模な改修が必要

であり、建物自体の耐用年数を考えると建て替えた方が、費用対効果が有効と考えます。

## ●和宏の考え・意見

現在の入居率は「11.6%」つまり約1割の利用率で果たして職員住宅としての役割はどのようなのか？かなり疑問があると思います。

さて、この問題は今始まったことでなく同会派の矢澤議員が平成12年9月議会でも指摘しています。あれから9年…議論は平行線…

市内の中心部、約1、400坪という土地、もったいない!!!

要望として、費用面が課題ですが、複合型施設の建設を視野に入れて早期に結論を出すように要望しました。また、その時に職員住宅に隣接する「伊草団地」(高齢化約30%)を考慮し、高齢者の皆さんがいづまでのお元気で長生き出来るように、「高齢者の居場所づくり」も考慮するように提言しました。

# 用水路の蓋かけについて

Q まだ市内の用水路の「蓋かけ」のされていない用水路が多く点在しており、この時期は悪臭や害虫の発生など市民の方からも「早期に改善を」という声が多く聞かれます。

改修には多額の費用が要するために一朝一夕に解決する問題ではありませんが、都市化が進む中で今後、計画的に整備を進める必要があると思いますが市のお考えを伺います。

A ご質問のとおり例年、夏場にかけて、水路からの悪臭、害虫の発生などについて市民の方々から数多くの要望や要請が寄せられており、浚渫や草刈り等、その対応の苦慮しているところです。

本市が管理している水路の総延長は約190キロメートルであり、そのうち約89キロメートルは南部地区をはじめとした土地区画整理区域内にあります。

この地区については、区画整理事業の進捗に伴い下水道の整備や蓋かけを今後、整備される予定となっています。

区画整理地以外の約101キロメートルの水路については、平成20年度末の整備率は約32キロメートル整備済みで整備率は31.2%となっています。

今後は、財政状況を踏まえた上で、住民要望を考慮しつつ、交通安全に資する箇所から優先的に順次、進めていきたいと考えます。

## ●和宏の考え・意見

私も議員となつて市民の方から一番、要望が多いのがこの項目です。

その都度、担当課へ行って要望活動をしていきますが、中々改善されていないのが現状です。

ちなみに過去5年間、どの位整備が進んだのか平均を調査した結果、年間約100メートル、150メートル整備したのが実情です。(区画整理地以外の箇所)このままのペースでは、すべての水路の整備が終了するには80年、100年後？



小作田職員住宅